

令和3年度

地域経済動向分析レポート

福智町商工会

目的

本レポートは、地域経済分析システム（RESAS：リーサス）を活用して地域課題の抽出と将来予測の分析等を行い、当地域（福智町）で事業展開を行う事業所への情報提供を目的として作成した。

地域経済の動向を把握し、限られた経営資源を効果的に投下できるよう、分析を行うものである。

※地域経済分析システム（RESAS：リーサス）は、産業構造や人口動態、人の流れなどの官民ビッグデータを集約し、可視化するシステムである。

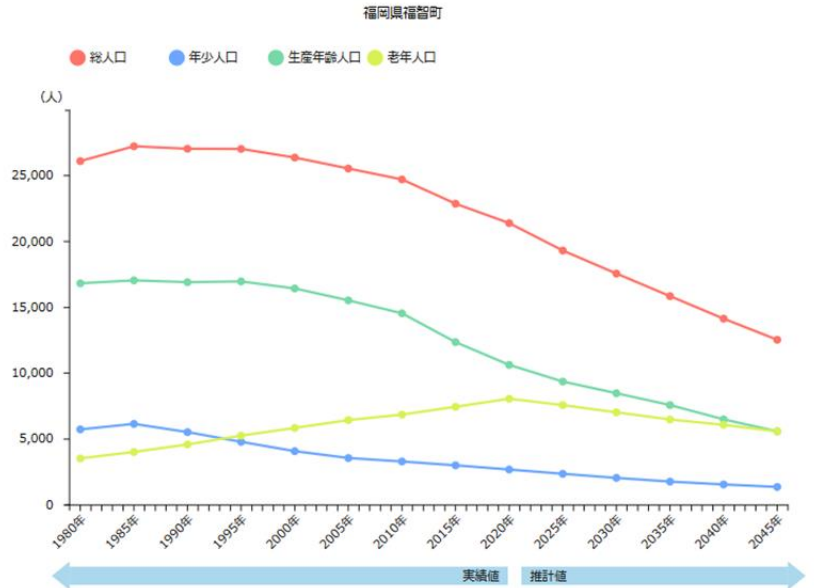
地方創生の様々な取り組みを情報面から支援するために、経済産業省と内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部事務局）が提供している。

人口

【人口推移】

総人口・年代別に人口がどのように推移するか把握する。

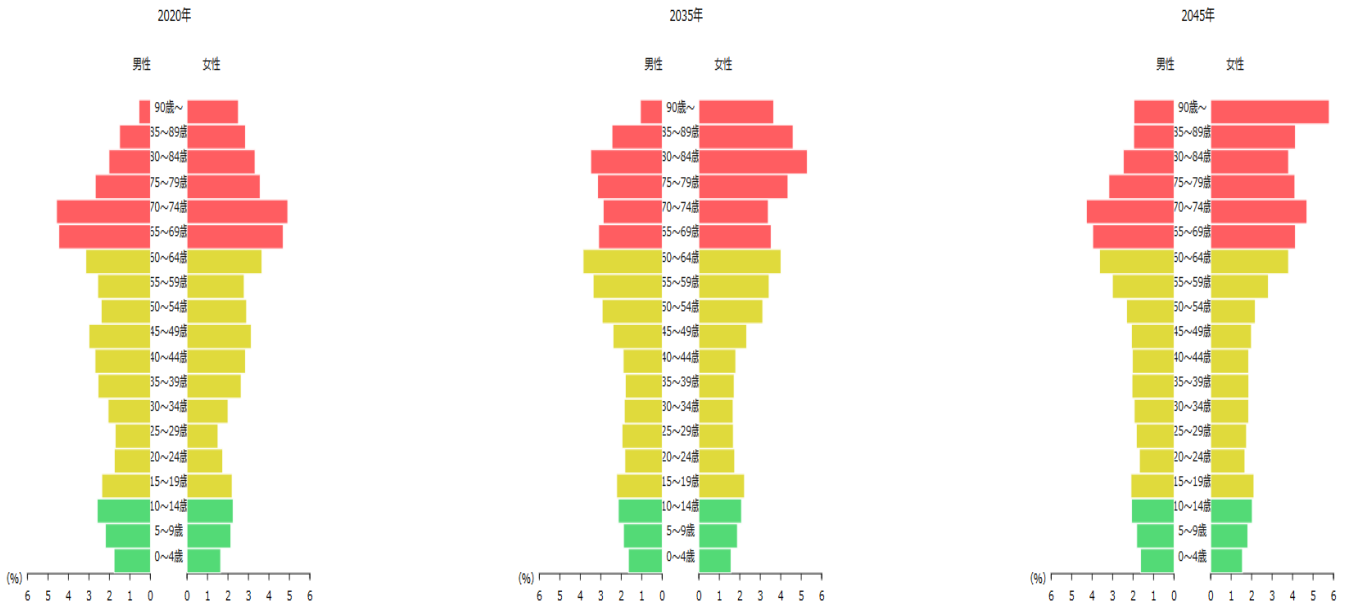
2020年と比較して、2025年に90.3%、2035年に74.1%、2045年に58.6%と、減少していくことがわかる。



【人口ピラミッド】

人口の男女別・年齢別構成を把握する。

2020年から2045年にかけて老年人口（65歳以上）は30.8%減少する。2020年から2045年にかけて生産年齢人口（15歳～64歳）は47.4%減少する。2020年から2045年にかけて年少人口（0歳～14歳）は49.1%減少する。



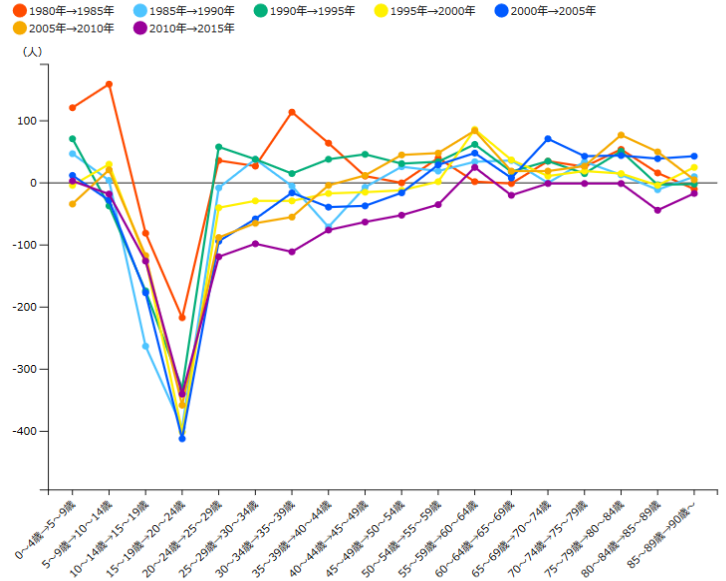
人口

【人口の社会増減-人口移動】

どの年代が転入（出）超過になっているかを確認し、人口の社会増減の状況を把握する。

2010年→2015年にかけて55～59歳→60～64歳の転入超過が多い。

2010年→2015年にかけて15～19歳→20～24歳の転出超過が多い。



【年少人口割合等の比較】

都道府県平均と比較して、年少人口割合および生産年齢人口割合は低く、老年人口割合および合計特殊出生率は高い。

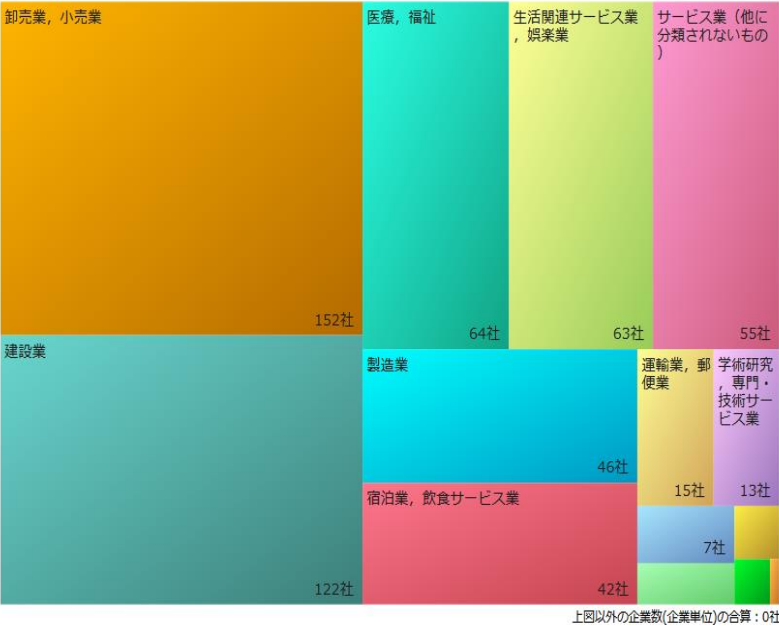
福岡県福智町

↑ 対象自治体が都道府県以上
↓ 対象自治体が都道府県未満

推移情報	全国平均	都道府県平均	対象自治体	
年少人口割合	12.03% ※1	12.89% ※1	12.58% ※1	↓
生産年齢人口割合	59.09% ※1	56.69% ※1	49.71% ※1	↓
老年人口割合	28.88% ※1	27.17% ※1	37.70% ※1	↑
合計特殊出生率	1.43% ※2	1.44% ※3	1.78% ※2	↑
推移情報	世代		全国転出超過元/転入超過元	
転出超過	15～19歳→20～24歳		福岡県北九州市八幡西区	
転入超過	55～59歳→60～64歳		福岡県田川市	

産業構造

2016年 企業数(企業単位) 大分類
福岡県福智町



【企業数（企業単位）大分類】

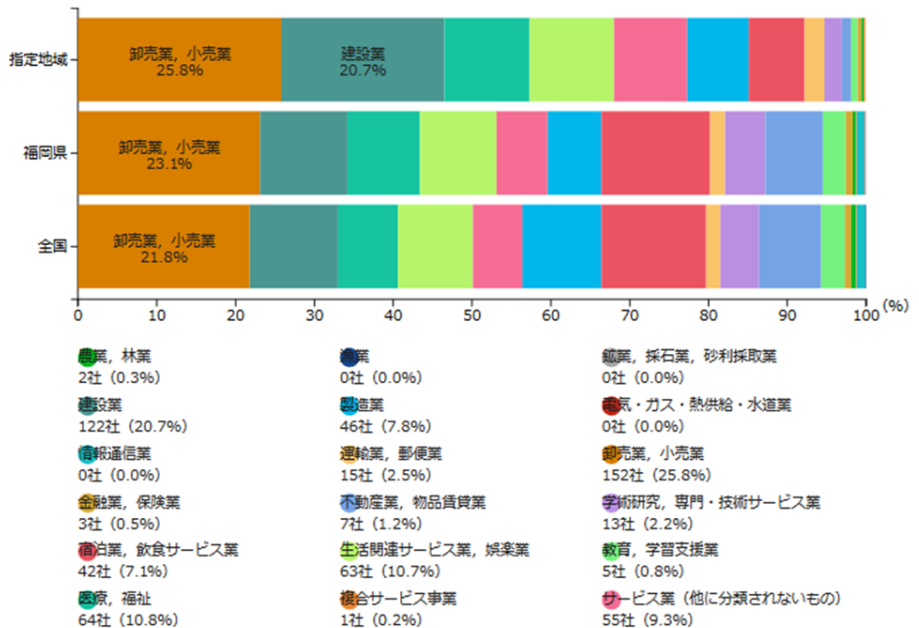
業種ごとの企業数を面の大きさを示したグラフである。もっとも多いのは「卸売業, 小売業」で152社。次いで「建設業」の122社、「医療, 福祉」の64社が続く。

【企業数（企業単位）福岡県・全国との比較】

福智町の企業数を福岡県・全国と比較すると、その割合は「卸売業, 小売業」が25.8%となっており、福岡県の23.1%、全国の21.8%と比較すると高い数値となっている。

企業数(企業単位) 2016年

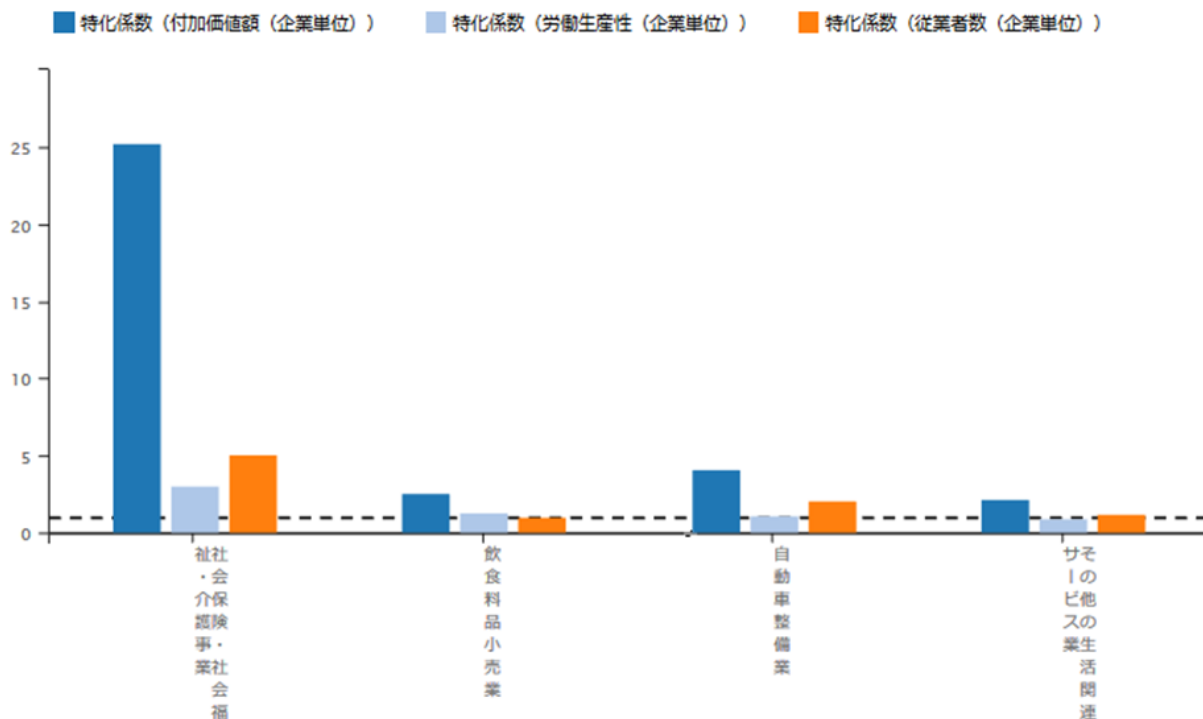
指定地域: 福岡県福智町



産業別特化係数

2016年

指定地域：福岡県福智町



【稼ぐ力分析】

付加価値額（企業単位）・労働生産性（企業単位）・従業者数（企業単位）の特化係数を確認し、稼ぐ力のある産業を把握する。

地域内の産業について、付加価値額（企業単位）・労働生産性（企業単位）・従業者数（企業単位）がそれぞれ全国と比べて特化（1を超えている）しているか否かを見ることで、産業ごとの課題把握に役立てる。

グラフは従業者数（企業単位）の特化係数が1を超えている産業について、従業者数（企業単位）の特化係数に基づき左から降順で並べたもの。

福智町においては社会保険・社会福祉・介護事業が抜きん出ている。

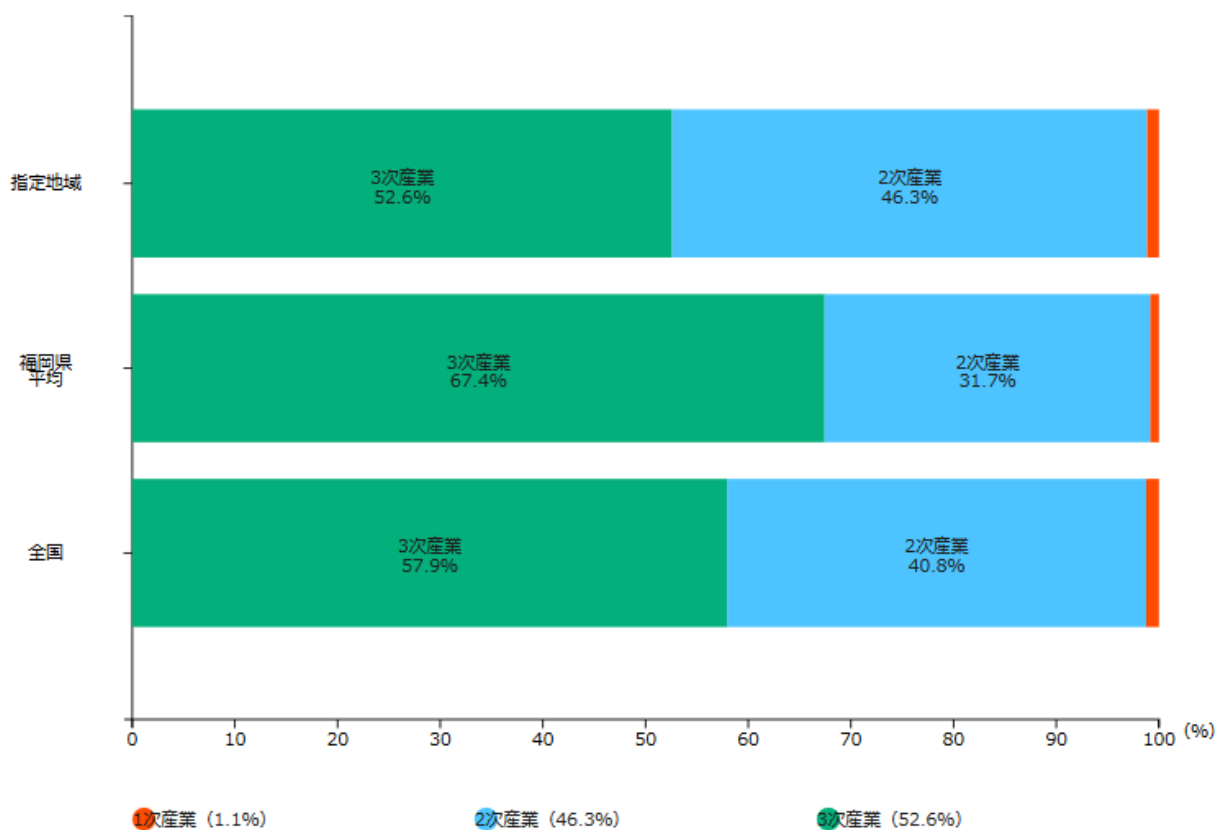
用語説明

特化係数	地域の特定の産業の相対的な集積度。
付加価値	企業等の生産活動によって新たに生み出された価値。 RESASでは以下の計算式を用いている。 [売上高－費用総額（売上原価＋販売費及び一般管理費）＋給与総額＋租税公課] なお、国民経済計算の付加価値額と異なり固定資本減耗分が含まれていない。
労働生産性	付加価値額÷従業者数の値。

地域内産業の構成割合（生産額（総額））

福岡県福智町

2015年



【地域内産業の構成割合（生産額（総額））】

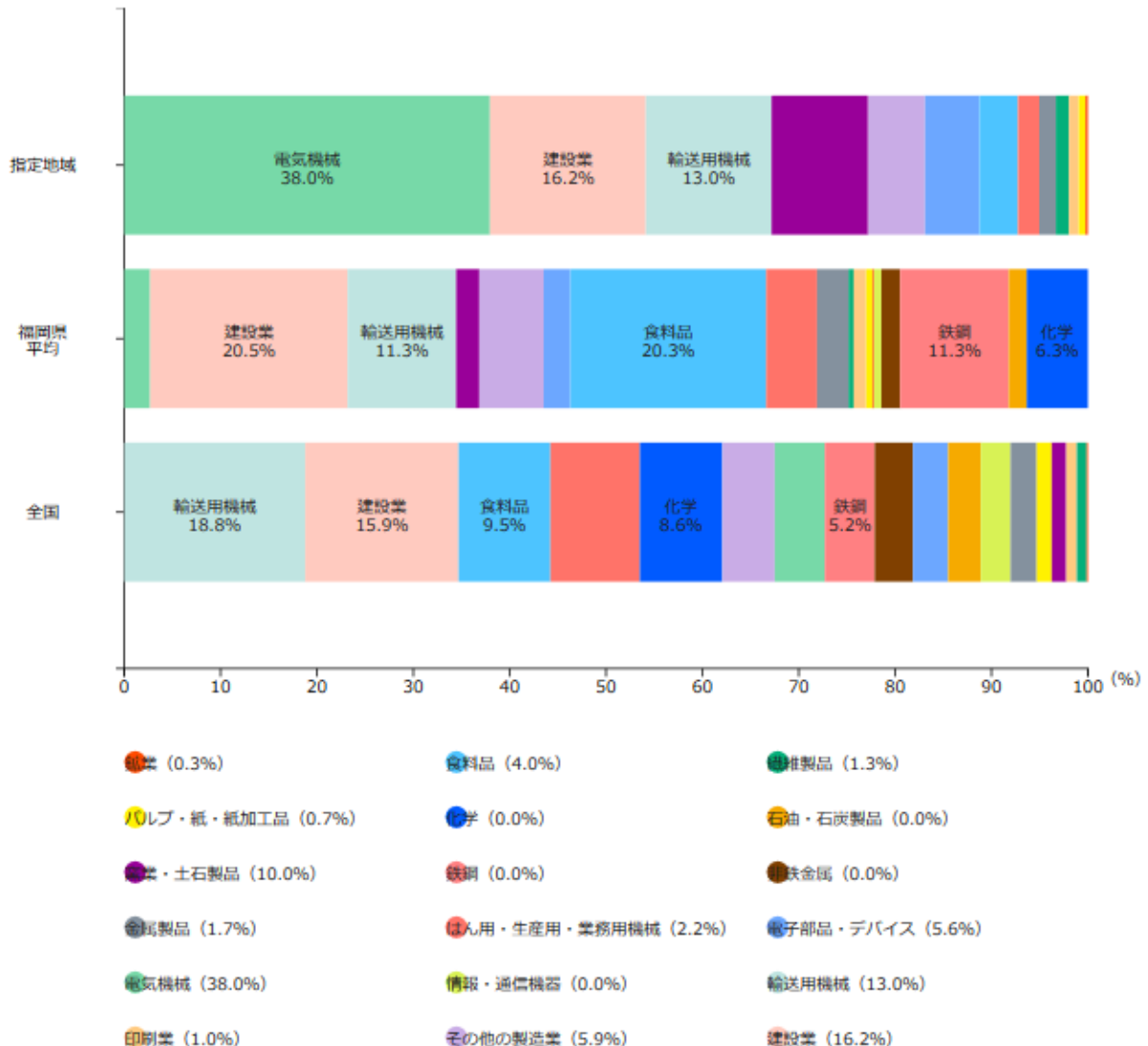
福智町における産業の構成割合は、3次産業が最も多く52.6%、次いで2次産業が46.3%、1次産業がわずか1.1%となっている。

福岡県平均は3次産業が67.4%、2次産業が31.7%となっており、福智町の2次産業の割合が県平均よりも多いことがわかる。

全国平均は、3次産業が57.9%、2次産業が40.8%となっている。

2次産業

2次産業



【2次産業の業種別構成割合】

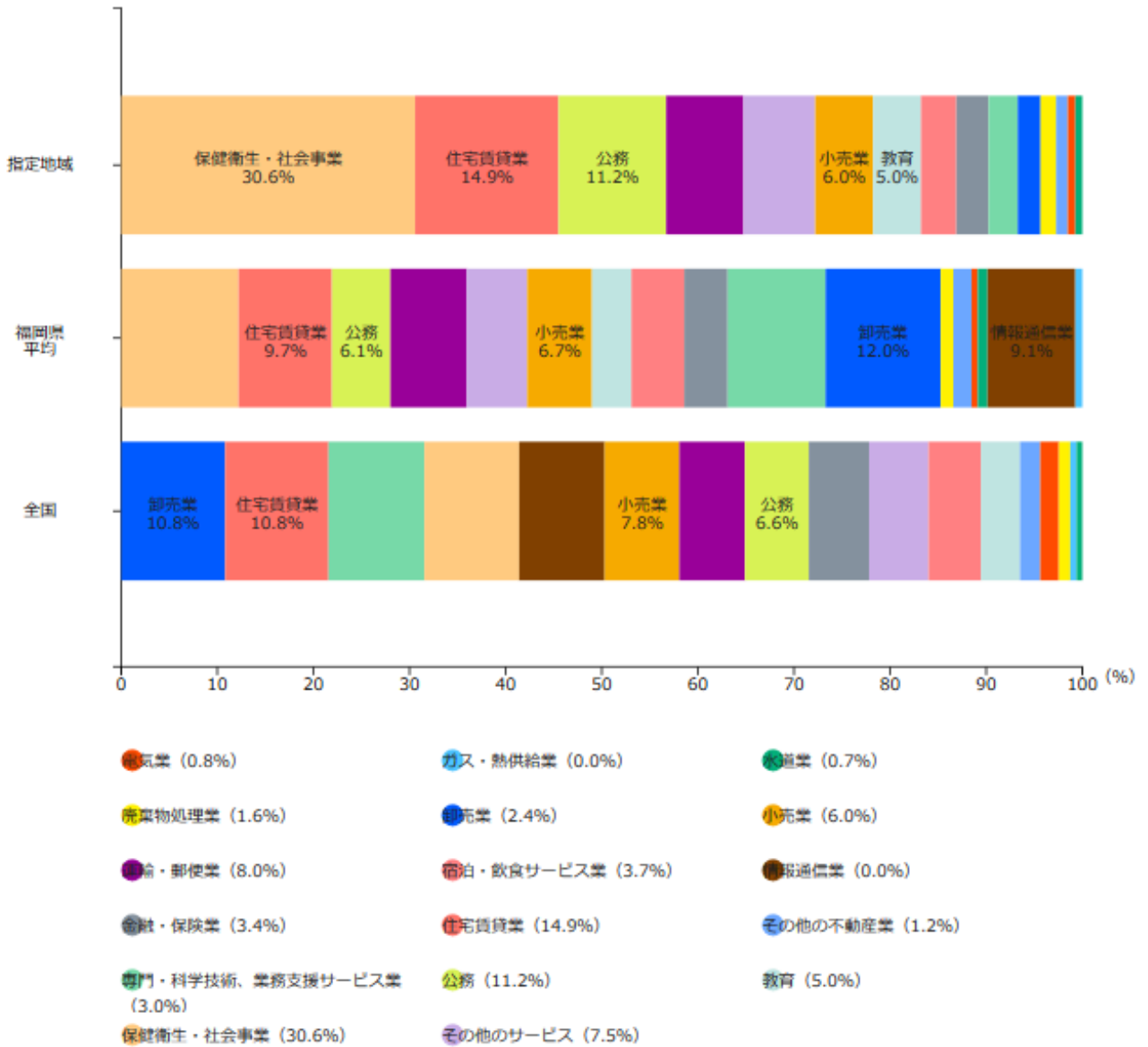
福智町における2次産業の構成割合は、電気機械が最も多く38.0%、次いで建設業が16.2%、輸送用機械が13.0%となっている。

福岡県平均は、最も多い建設業が20.5%、次いで食料品20.3%、輸送用機械と鉄鋼がそれぞれ11.3%で続く。

全国平均は、輸送用機械が最も多く18.8%、次いで建設業15.9%、食料品9.5%となっている。

3次産業

3次産業



【3次産業の業種別構成割合】

福智町における2次産業の構成割合は、保健衛生・社会事業が最も多く30.6%、住宅賃貸業が14.9%と続く。

福岡県平均は、最も多い卸売業が12.0%、次いで住宅賃貸業が9.7%、情報通信業が9.1%が続いている。全国平均は、卸売業と住宅賃貸業が並んで10.8%と最も多く、次いで小売業の7.8%となっている。

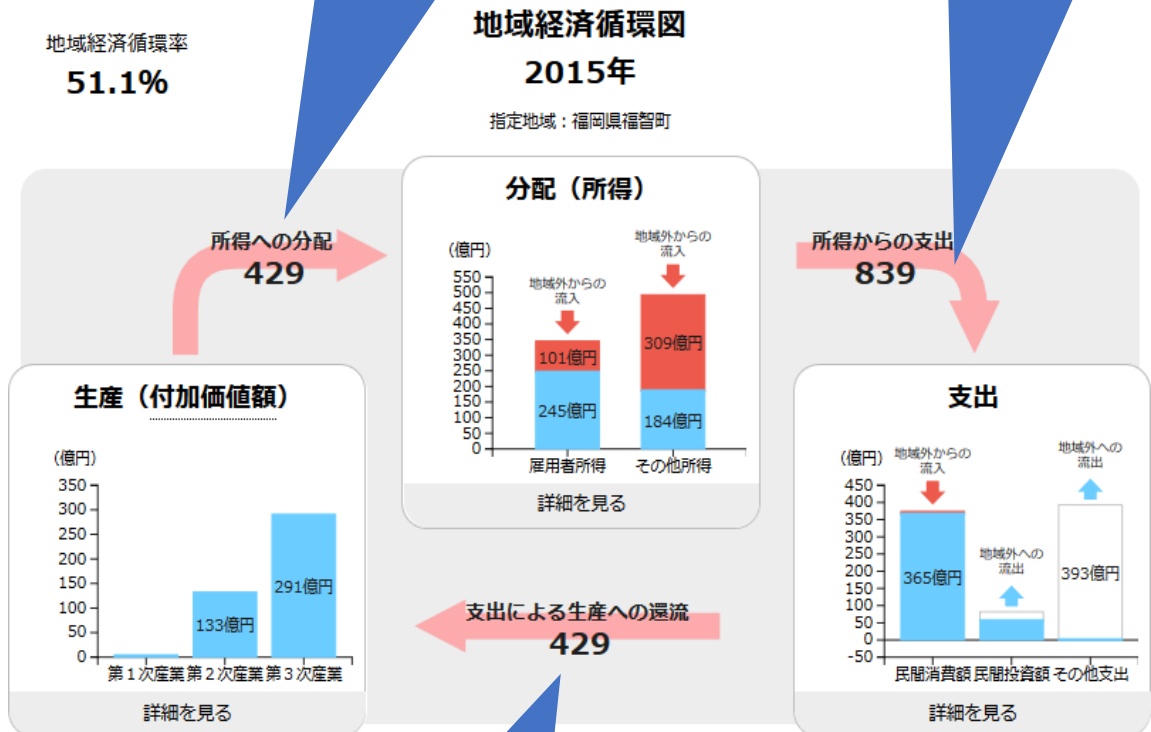
地域経済循環

【地域経済循環】

地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値額は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出され、再び地域内企業に還流する。この流れを示したものが地域循環図である。

福智町の企業は合計429億円の付加価値を生み出している。

付加価値のうち、支出に回されるのは839億円。地域外からの流入が含まれるため所得への分配より多い。



町内で支出に使われた金額は429億円。地域外へ流出しているため839億円より少ない。

まとめ

- 福智町では人口の減少、少子高齢化が進んでおり、県平均と比較して生産年齢人口は低く、老年人口割合は高い。
- 福智町の産業においては、卸売業、小売業を営む事業所が多く、その割合は福岡県、全国と比較しても高い数値となっている。
- 福智町の特化係数（付加価値額（企業単位））は、社会保険・社会福祉・介護事業が抜きん出た数値となっている。
- 福智町の地域内産業の構成割合は、3次産業が52.6%、2次産業が46.3%となっている。
- 福智町の2次産業における構成割合は、電気機械が最も多く38.0%、次いで建設業が16.2%となっている。
- 福智町の3次産業における構成割合は、保健衛生・社会事業が最も多く30.6%、住宅賃貸業が14.9%となっている。
- 地域経済循環においては、福智町の企業は合計429億円の付加価値を生み出しており、地域経済循環率は51.1%となっている。